

(表紙)

宝曆十四年 御馳走方 脇坂淡路守

相模国 朝鮮人昼休下行方諸道具帳

大磯宿

甲申正月 御賄所

渡邊半十郎手代

内山伴七

p1 *將軍家治襲職の賀。

正使副使従事 是ハ三使と

云又信使共

- 一、白米 貳升
- 一、白味噌 七合五夕
- 一、醤油 三合
- 一、酢 三合
- 一、胡麻油 貳合五夕
- 一、塩 貳合五夕
- 一、初育挽茶五匁 但香壺ツニ入
- 一、服部刻たはこ十匁 但箱壺ツニ入
- 一、菓子 まんちう七ツ

求肥 半引
 かすていら半引
 あるへい糖 半引
 らくかん 半引

- 一、鯛 壺枚 但長壺尺五寸
- 一、鰯 壺本 但長壺尺貳寸
- 一、甘鯛 三ツ 但長八九寸
- 一、大鮑 貳ツ
- 一、鯛(するめ) 三枚
- 一、鯉節 貳ツ
- 一、鶏 壺羽 但活鳥
- 一、鶏卵 八ツ
- 一、猪 壺股
- 一、大根 五本
- 一、蕪 五本
- 一、蕪 貳把半
- 一、牛蒡 五本

- 一、にんしん 五本
- 一、長いも 五本
- 一、つついも 五ツ

p2

- 一、芋 貳合五夕
- 一、ねぎ 貳把
- 一、セリ 貳把
- 一、くわい 五ツ
- 一、結柚 五ツ
- 一、塩まっただけ 五本
- 一、椎茸 壺合
- 一、豆腐 壺丁
- 一、こんにやく 貳丁
- 一、麩 五ツ
- 一、こんふ 壺枚
- 一、小麦粉 貳合
- 一、葛 貳合五夕
- 一、胡椒の粉 貳匁五歩
- 一、からしの粉 壺合
- 一、けしの壺合
- 一、黒胡麻 壺合
- 一、さんせう 壺合
- 一、せうろ 貳合
- 一、香物 奈良漬瓜壺舟
- 味噌漬大根壺本
- 一、炭 貳俵 但し五貫目入
- 一、薪、堅木七把半 但し貳尺五寸縄法

p3

上々官

(このページ写真撮影漏れ)

p4

- 一、セリ 壺把判
- 一、くわい 四ツ
- 一、柚 四ツ
- 一、塩松茸 四ツ
- 一、椎茸 壺合
- 一、豆腐 壺丁
- 一、こんにやく 貳丁
- 一、麩 四ツ

- 一、昆布 壹枚
- 一、小麦粉 貳合
- 一、葛 貳合
- 一、胡椒の粉 貳匁
- 一、からしの粉 壹合
- 一、けし 壹合
- 一、黒胡麻 壹合
- 一、さんせう 壹合
- 一、せうろ 貳合
- 一、香物 なし漬 壹冊
- 味噌漬大根 壹本
- 一、炭壹俵 但し五貫目入
- 一、薪 堅木五把 但し貳尺五寸繩法

上判事

- 一、白米 壹升五合
- 一、白味噌 貳合五夕
- 一、醤油 壹合五夕
- 一、酢 壹合
- 一、胡麻油 貳合

p 5

- 一、塩 壹合
- 一、初育挽茶 三匁七歩五厘 但棗一ツニ入
- 一、服部刻たはこ 七匁五歩 但箱一ツニ入
- 一、菓子 まんちう 五ツ、
かすていら 四十目
らくかん 四十目
- 一、鯛 壹枚 但し長壹尺貳寸
- 一、大鮑 壹ツ
- 一、鯛(するめ) 貳枚
- 一、鯉節 壹ツ
- 一、鶏 壹羽
- 一、鶏卵 四ツ
- 一、猪 半股
- 一、大根 四本
- 一、蕪 四本
- 一、藁 貳把
- 一、牛房 四本
- 一、にんじん 四本
- 一、長いも 四本

- 一、つつ芋 四ツ
- 一、芋 貳合
- 一、ねぎ 壹把半
- 一、セリ 壹把半
- 一、くわい 四ツ
- 一、柚 四ツ
- 一、塩松茸 四本
- 一、椎茸 四ツ
- 一、豆腐 壹丁
- 一、こんにやく 貳丁
- 一、麩 四ツ
- 一、こんぶ 壹枚

p 6

- 一、小麦の粉 壹合
- 一、葛 貳合
- 一、胡椒の粉 壹匁五歩
- 一、からしの粉 壹合
- 一、けし 壹合
- 一、黒胡麻 壹合
- 一、さんせう 五夕
- 一、せうろ 壹合
- 一、奈良漬瓜 壹舟
- 一、炭 壹俵 但し五貫目入
- 一、薪 堅木五把 貳尺五寸繩法

製述官

右同断

上官拾三員

次官貳員

- 一、白米 壹斗五升
- 一、白味噌 三升七合五夕
- 一、醤油 壹升八合七夕五才
- 一、酢 壹升五合
- 一、胡麻油 壹升五合
- 一、塩 壹升五合
- 一、極揃挽茶 七匁五歩壺一ツニ入
- 一、服部刻たはこ 貳百拾貳匁五歩箱一ツニ入

p 7

一、菓子 まんぢう 三十

かすていら 貳百九十式匁

らくかん 五百九十式匁

一、平目 拾五枚 但し長壹尺五寸

一、大鮑 十五

一、するめ 三十枚

一、鯉節 十五

一、鶏 八羽 但し活鳥

一、鶏卵 六十

一、猪股 七と五足

一、大根 廿三本

一、ねぎ 十五把

一、豆腐 七丁半

一、からの粉 壹合五夕

一、けし 七合五夕

一、さんせう 七合五夕

一、せうろ 七合五夕

一、密柑 貳百貳拾五

一、奈良漬瓜 八舟

一、炭 三俵 但し五貫目入

一、薪堅木 拾貳把 但し貳尺五寸縄法

一、正使附 上官 拾三員

次官 貳員

一、副使附 上官 拾老員

次官 三員

p 8

一、従事附 上官 八員

次官 八員

右之通下行場ニ鈎臺ニナラベ置出

役之者方請取候、唐人老人対馬守

家来式人立合之上ニテ渡右渡

候文言左之通ニ御座候

右ハ相模国大磯宿旅館三使

上々官、上判事、製述官、上官

次官人数五拾貳員二月十四日

昼休下行書面之通相渡

申処仍テ如件

宝曆十四年申二月 渡邊半十郎印

対馬守殿御内

津江左近右衛門殿

平田集之助殿

聖欽李僉正

大来崔僉正

士行劉僉正

右奉書色紙ニテ相渡右役人

方請取書取之

p 9

勝手諸道具渡方

三使台所三ヶ所分

一口分

一、鱈皿 壹ツ 一、刺身皿 一ツ

一、焼物皿 壹ツ 一、大猪口 一ツ

一、小猪口 一ツ 一、大手塩皿 一ツ

一、小手塩皿 一ツ 一、奈良茶碗一ツ

一、上茶碗 一ツ 一、染付大砂鉢一ツ

一、同小砂鉢 一ツ 一、片口 一ツ

一、羽釜 一ツ 一、大鍋 一ツ

一、七ツ入り鍋一組 一、菓罐一ツ式升入

一、隠元菓罐 一ツ 一、包丁 一組

一、出刃包丁 一本 一、鋼杓子 三本

一、銅杓子 三本 一、鉄火箸 貳膳

一、鉄弓 一組 一、大五徳 貳ツ

一、小五徳 三ツ 一、鉄網 壹枚

一、山葵卸 一枚 一、真銅さじ 一本

一、十能 一ツ 一、又ふり 一本

一、木具八寸 一枚 一、塗三宝 一ツ

一、丸盆 貳枚 一、塗木具 一枚

p 10

一、切立 壹ツ 一、飯櫃壹ツ式升焚

一、米洗桶 壹ツ 一、半切桶 壹ツ

一、水溜桶 壹ツ 一、切溜桶 壹ツ

一、碗洗桶 壹ツ 一、魚洗桶 壹ツ

- 一、荷桶 一荷 一、手桶 壺ツ
- 一、はんだう 一ツ 一、膳棚 一組
- 一、膳臺 一脚 一、大俎板 一面
- 一、小俎板 一面 一、置いろ里
- 一、七りん 一ツ 一、焼物火鉢 一ツ
- 一、二ツへつつい 一ツ 一、水流 壺ツ
- 一、大播鉢 一ツ 一、小播鉢 一ツ
- 一、播木 式本 一、味噌越 一ツ
- 一、味噌置袋 一ツ 一、水越 一ツ
- 一、諸目すいのふ 一ツ 一、片目すいのふ 一ツ
- 一、白木杓子 式本 一、大柄杓 式本
- 一、小柄杓 三本 一、貝杓子 三本
- 一、食揚大ざる 壺ツ 一、小ざる 式ツ
- 一、煮出籠 式ツ 一、青物籠 式ツ
- 一、鍋居 三ツ鍋取共 一、白木炭取一ツ 壺斗入
- 一、青砥 壺丁 一、合砥 壺丁
- 一、碗懸布 壺筋 一、布巾 式筋
- 一、茶袋 一ツ 一、豆腐串甘本
- 一、魚串式拾本 一、セつかい大小四本

p 1 1

- 一、菜箸 式膳 一、上白箸甘膳
- 一、雑箸 十五膳 一、杉やうし 五本
- 一、火吹竹 式本 一、洪団扇 式本
- 一、糊板 壺枚 一、裁板定木共 一枚
- 一、浅黄巾 一ツ 一、味噌桶 一ツ七合 五夕入
- 一、檜曲げ物 壺ツ 塩式合五夕入
- 一、同 一ツ 玉子八ツ入 一、同
- 一、二ツ奈良漬瓜味噌漬大根一本
- 一、黒塗棗箱壺ツ 茶五匁入
- 一、蓋茶碗一ツ麩一ツ入
- 一、五合入徳利 三ツ 醤油 胡麻油入
- 一、白木折敷 一枚
- 一、日光七ツ鉢 壺組
- 一、黒重箱 壺組
- 一、大鉢 一ツ
- 一、五ツ組引鉢 壺組

p 1 2
上々官三人上官拾五員共

- 一、鱈皿 三ツ 一、刺身皿 三ツ
- 一、焼物皿 三 一、大猪口 三ツ
- 一、小猪口 三 一、大手塩皿 三
- 一、小手塩皿 三ツ 一、奈良茶碗 三
- 一、上茶碗 三 一、染付大砂鉢 三
- 一、同小砂鉢 三 一、片口 三ツ
- 一、羽釜 一ツ四升焚 一、大鍋 壺ツ五升入
- 一、七ツ入子鍋一組 一、薬罐 一ツ式升入
- 一、隠元薬罐 一ツ 一、包丁 壺組
- 一、出刃包丁 壺本 一、銅杓子 三本
- 一、網杓子 三本 一、鉄火箸 式膳
- 一、鉄弓式本股京一組 一、大五徳 式ツ
- 一、小五徳 三ツ 一、鉄口 壺枚
- 一、山葵卸 一枚 一、真銅さし 一本
- 一、十能 一本 一、又ぶり 壺本
- 一、木具八寸 三枚 一、塗三宝 一ツ
- 一、丸盆 式枚 一、塗木具 三枚
- 一、切立 一ツ 一、飯櫃一ツ四升五合焚
- 一、米洗桶 一ツ七升入 一、半切桶一ツ 差渡三尺
- 一、水溜桶 一ツ 一、切溜桶 式ツ
- 一、碗洗桶 一ツ 一、手桶 一ツ
- 一、ばんだう 一ツ 一、膳棚 壺組
- 一、膳臺 三脚 一、大俎板 壺面
- 一、小俎板 壺面 一、置いろり 一ツ
- 一、七りん 一ツ 一、焼物火鉢 一ツ

p 1 3

- 一、へつつい 一ツ 一、水流 一ツ
- 一、大播鉢 一ツ 一、小播鉢 一ツ
- 一、味噌こし 一ツ 一、同置袋 一ツ
- 一、水こし 一本 一、諸目すいのふ一ツ 本
- 一、片目すいのふ 一ツ 一、白木杓子式本
- 一、大小柄杓 式本 一、貝柄杓子 三本
- 一、食揚大ざる 一 一、小ざる 式ツ
- 一、煮出籠 式ツ 一、青物籠 式ツ
- 一、鍋居三 鍋取共 一、白木炭取 一ツ

- 一、青砥合砥式ツ 一、碗懸布式筋
- 一、布巾 三筋 一、茶袋 壱ツ
- 一、豆腐串廿本 一、魚串式拾本
- 一、セツかい大小三本 一、上白箸三拾膳
- 一、雑箸三拾膳 一、杉やうし 十五本
- 一、火吹竹 式本 一、菜箸 式膳
- 一、洪団扇 式本 一、糊板 一枚へら共
- 一、裁板定木共 一、浅黄服紗 三ツ
- 一、附木 三把 一、桶 三ツ 米一升五合入

- 一、桶三ツ 味噌五合入 一、檜曲物三ツ 塩式合五夕入

- 一、檜曲物三玉子八ツ入 一、同六ツ奈良漬瓜三舟味 噌漬大根三本

- 一、五合入德利九ツ 一、白木小折敷三枚
- 一、播木 壱本 一、日光七ツ鉢 壱組
- 一、黒重箱 壱組 一、大鉢 壱ツ
- 一、五ツ組引鉢壱組 一、黒塗棗三ツ茶五匁入

- 一、桐野郎蓋箱一ツ菓子入
- 一、檜薄板箱三ツたはこ拾匁入

p 1 4

上官拾五員右ニ准シ候故
書留不申候

上判事

製述官 四人分

- 一、鱈皿 四ツ 一、刺身皿 四ツ
- 一、焼物皿 四ツ 一、大小猪口四ツ、
- 一、大小手塩皿四ツ、 一、奈良茶碗大小 四ツ、
- 一、染付大砂鉢 四 一、同小砂鉢 四ツ
- 一、片口 四ツ 一、大釜 五升入 一ツ
- 一、羽鍋 一ツ三升入 一、小鍋一ツ三升入

- 一、菓罐 一ツ三升入 一、同 壱ツ 壱升入
- 一、包丁 壱組 一、出刃包丁 壱本

- 一、銅杓子 式本 一、銅杓子式本
- 一、鉄火箸 式膳 一、鉄弓式本股糸一組
- 一、大小五徳五ツ 一、鉄網 壱枚
- 一、山葵卸 一枚 一、真銅さじ一本
- 一、十能 一本 一、又ぶり 一本
- 一、木具八寸 一枚 一、塗三方 一ツ
- 一、丸盆 四枚 一、切立 壱ツ
- 一、飯櫃 一ツ六升入焚 一、米洗桶壱斗入

- 一、半切桶 一ツ 一、水溜桶壱ツ四斗入

p 1 5

- 一、切溜桶 式ツ 一、碗洗桶 一ツ
- 一、魚洗桶 一ツ 一、荷桶 一荷
- 一、手桶 一ツ 一、膳棚 式組
- 一、膳臺 一脚 一、大俎板 一面
- 一、小俎板 壱面 一、七輪 壱ツ
- 一、焼物火鉢 一ツ 一、式ツへつつい一ツ

- 一、大播鉢 一ツ 一、小播鉢 一ツ
- 一、すり木 式本 一、味噌こし 一ツ
- 一、味噌置袋 一ツ 一、水こし 壱本
- 一、諸目すいのふ一ツ 一、片目すいのふ一ツ

- 一、白木杓子式本 一、大小柄杓式本
- 一、貝杓子 四本 一、食揚大ざる一ツ
- 一、小ざる式ツ 一、煮出籠 式ツ
- 一、青物籠 一ツ 一、鍋敷鍋取共
- 一、白木炭取 一ツ 一、青砥合砥 式ツ
- 一、碗懸布式筋 一、布巾 式筋
- 一、茶袋 壱ツ 一、豆腐串 廿本
- 一、魚串式拾本 一、セツかい大小 三本
- 一、上白箸廿膳 一、雑箸廿膳
- 一、杉やうし 十六本 一、火吹竹 式本
- 一、洪団扇 式本 一、糊板一枚へら共
- 一、裁板定木共 一、附木 四把
- 一、桶四ツ 米一升五合入 一、同四ツ味 噌式合五夕入
- 一、檜曲物四ツ塩壱合五夕入 一、同四ツ 玉子4ツ入

p 1 6

- 一、同四ツ奈良漬瓜一舟入 一、菓子入同蓋付打箱四ツ
- 一、たはこ十匁入同薄箱四ツ 一、黒塗棗四ツ茶五匁入
- 一、蓋茶碗四ツ麩四ツ入 一、五合入德利十式
- 一、白木山折敷 四枚 一、日光七ツ鉢一組
- 一、黒重箱 壺組 一、大鉢 壺ツ
- 一、五ツ組引鉢 一ツ

右之外

良医次判事写字官

書記押物判事■員

医員都合拾四員之

御道具ハ右之通ニ御座候

尤格ニより相減申候

右御道具御賄方手代

式人下役式人御馳走方

書留役之者式人町役

人并官人宿之者立

会之上ニテ相渡尤官人

宿之もの方請取書取之

p17

一、從朝鮮国進上之御鷹

七拾居出候所道々殯鷹

ニ罷成候、正月六日大磯宿着

昼休無滞通行相濟

候■

一、從朝鮮国進上之御鷹

三拾三居宗対馬守様御

家来差添今六日大磯

宿着仕候所小田原宿方

大磯宿迄之於途中

御鷹老居殯鷹罷成

御鷹三拾式居并殯鷹

都合拾六居同日申中刻

大磯宿無滞出立仕候
 一筆奉啓上候、此度從朝鮮国
 進上之御鷹三拾三居宗対馬守
 家来差添今六日申中刻
 相州大磯着仕候所從小田原宿
 大磯宿迄之於途中
 御鷹老居殯鷹罷成御鷹
 三拾式居并対馬守家来共
 同日無滞出立仕尤
 酒匂川土橋馬入川渡船共

p18

無滞通行相濟申候、右為

可申上如斯御座候、恐惶謹言

正月六日 渡邊半十郎

居判

一 安芸守様

右一通

松 和泉守様

大 伊勢守様

一 安芸守様

古 与七郎様

右同文言ニテ一通

石 備後守様

安 彈正少弼様

牧 大隅守様

本 日向守様

伊 半左衛門

上 源太郎様

柘 五郎左衛門様

右之通一通

出役

正月六日

手代式人

下役三人

足輕四人

郷人足四人

中間老人

小者老人

p19

九日

從朝鮮国進上之御

荷物長持五拾壹棹
御荷物先江白絹之
旗ニ別幅と申す文字有
之候、荷物之差札ニ国
禮物と有之候、別幅
と申すハ御老中方へ之
進上物、国禮物と申すハ
日本之献上と申す事之由
御座候

対州役人
正月九日 村瀬作兵衛

御荷物附役人
三浦平左衛門

御馳走方 脇坂淡路守内
関口十郎左衛門

同 賀集右衛門
同 岡田善太夫

右三人之内関口引馬ニテ
出迎式人ハ宿端迄出向
申候

御賄方渡邊半十郎
手代

p 2 0

黒沼秀蔵
坂東民弥
加藤五左衛門
内山伴七

正月晦日

従朝鮮国進上之御馬
式疋芸馬三疋官人

三人通詞差添今晦日

大磯宿昼休酒匂川

土橋馬入川船橋共無

滞通行相済申候、尤

黒馬三疋揃白疋疋かけ疋

疋不残しだかふり也

対州役人平田幸右衛門
志田善右衛門小頭三人
足輕拾三人御馬宿
勘兵衛

次官老員駕籠
下官 同 馬ニテ
官人宿 市右衛門

p 2 1

本陣着之節門之内左右ニ
手代會田定七、斎藤惣八
下役塚本籐左衛門、内山伴七
足輕式人左右ニかため申候
玄関ニハ御馳走方役人
五人相詰座敷着飯後
御代官渡邊半十郎御見廻
一通被致挨拶候、尤通詞
取次ニテ申達夫御代官
御馬宿江御詰手代野崎
佐四郎濱名兵七下役
塚本惣衛門、坂東民弥
相詰申候、御馳走方方
留守居元ノ其外三人
相詰申候、御馬飼料
左之通

御馬飼料

一、白米五升
一、大豆七升五合
一、精大麦五升
一、塩五合
一、小麦ひきわり五升
一、粕老升
一、粉糴五升
一、苺大豆葉五束

p 2 2

一、青萱葉五束 但干草
一、敷藁七束半
一、薪七貫五百目 但五束

右ハ従朝鮮国進献上之御馬
式疋芸馬三疋正月晦日

相州大磯宿昼休資料
相渡申候、仍テ如件

申正月晦日 渡邊半十郎

宗対馬守殿御内

平田幸右衛門殿

右之通御代官御馬宿被相

詰奉書建紙ニ認被

相渡尤御馳走方も

御立合之上相渡申候事

p 2 3

通行相濟候御注進

一筆奉啓上候、此度從朝鮮

国進上之御馬芸馬共

五疋官人三人通詞忒人

宗対馬守家来差添今

晦日午上刻相州大磯宿

着仕同日未上刻無滯

出立仕候、尤御馬飼料

渡方好等も無御座御料

理方等諸事無滯

酒匂川土橋馬入川船橋

共通行相濟申候、右御

注進為可奉申上如斯

御座候、恐惶謹言

正月晦日 渡邊半十郎

居判

松 和泉守様

大 伊勢守様

一 安芸守様

古 与七郎様

右一通

p 2 4

右之通

御勘定奉行衆

御吟味衆へ同断

一 安芸守様 一通

御勘定御組頭

山崎岡右衛門様

右之通御用状出ス、右之

官人宿入之節黒沼秀

蔵加藤五左衛門下役忒人

宿端江出迎送り共

朝鮮之信使当月十三日老岐

国勝本浦江着岸之旨松

浦肥前守方申来候間為

心得申達候、旅館其外小休

所野茶屋、野雪隱畳

表替障子張替等迄此

節皆出来候積被相心得

所々船橋之儀も懸渡等

之手配用意有之差懸り

手支無之様可被取計候

p 2 5

此廻状昼夜ニ不限早々

順達留り方

御殿御勘定所へ可被相達候

十一月廿三日

古坂与七郎
一色安芸守

以廻状致啓上候、各様弥御堅

固被成御座珍重奉存候、然ハ

来艘之信使去ル六日対州

佐須奈浦出船同十一日風和ニ

付佐須奈浦出船之処大間と

申瀬戸浪高ニテ難漕通

河内浦と申所ニ致投□船

其後右之瀬戸通船之風和

無之同所ニ致滞船参府

之期月も懸近々処右之

模様ニテハ参府致延引可

申哉之段宗対馬守殿方

御老中方へ御案内被申上候ニ付

去十七日対州仕出之継

船今廿七日朝着当所
町奉行衆迄右之趣被申越候
由、町奉行衆被申聞候、依之
御通達為可得御意如此御座候

p 2 6

猶追々様子相知次第
可得御意候、此廻状早々御
順達可被下候 以上

十月廿七日 飯塚伊衛 印

内藤十右衛門 印

枚方宿方江戸迄

右宿々御賄

御同役中様

此触書早々相達伊奈半左衛門方へ
可相返もの也

朝鮮国方進上之御鷹為定
餌鳥之外用意之餌鳥掛川
宿方江戸迄泊休御賄御
代官差図遂於宿々
人足差出無滞可持送
もの也

未

十一月十二日

一 与七 印
二 弾正 印
三 安芸 印
四 筑後 印
五 伊勢 印
六 御殿
七 押切

遠州掛川宿迄

宿々

問屋
年寄

p 2 7

朝鮮国近年飲酒禁制

ニ付今度来聘之一行於日本
饗応并音物も酒一切及
御断候様致度旨三使方
宗对馬守江申達候、然ハ

三使任断候饗応之節
酒出候儀并被下候物之内
御酒相添来候分御酒計ハ
可相心付■仰出候間

可被得其意候、尤海陸
於御馳走所音物酒相
添候儀も相心可申候、右之■
所々御馳走人并御賄御
代官其外音物有之
面々江可被相達候
十一月

右之通右近将監殿以御書
付被仰渡候間申達候
廻状早々順達可有之候 以上

十一月廿九日 古坂与七郎

p 2 8

一色安芸守
松平和泉守

宿々

御賄所

御代官連名

来期之副使卜船之船将
船中方病氣ニ候所对府
廻座之上致病死候、并
正使附下官老人副使
附下官式人従事附
下官老人病氣ニ付
朝鮮江差返候由宗
对馬守方申来候、為心
得之申達候 以上

十二月八日

古 与七郎
一 安芸守

宿々御賄御代官

総御廻状

p 2 9

今度来朝之信使去十二月廿七日

長門国赤間関着船之由、松平
大膳太夫家来申聞候、宗対
馬守注進ハ未致不来候
得共為心得宿繼を以廻
状如斯御座候、此段御賄御
代官江も御通達可有之候 以上
所司代
正月三日 阿部伊予守 印

從大津江戸迄御馳走之
御方々宛

從朝鮮国進上之御馬式疋
芸馬三疋官人三人通詞
式人宗対馬守家来相
添旧臘廿一日之夜至大阪
着船之事ニ候、此地ニテ休メ
可罷在由ニ候、飼料人馬等
為支度対馬守方差出候
書付別紙之通先申入候
当地發足日限相極次
第追テ可申達候 以上
御城代
申正月十二日 阿部飛驒守 印

從枚方品川迄
御馳走衆中

p 3 0
此廻文別紙書付共品川宿
御馳走所方御用番御老中
可被差上候 以上

献上御馬式疋芸馬三疋
發足之節人馬書
一、人足 口取 拾人
馬柄杓持 五人
轡箱持 五人
蠅払持 式人

一、荷馬式疋
但し次官中官荷附用
一、乗掛馬壹疋
但し下官乗用
一、荷馬式疋
但し通詞式人乗掛用
一、乗掛荷馬式疋
但し御馬道具附用

人馬式拾式人
馬數七疋
右之通御用意被仰付可被下候 以上
正月十一日 宗対馬守内
人馬下知役
越多中

p 3 1
今度朝鮮国進上之
御馬明後十六日之朝大阪發
足ニ候間可被得其意候 以上

正月十四日 阿部飛驒守 印
從枚方品川迄
朝鮮人御馳走衆中

p 3 2
朝鮮人官名

正使通政大夫曹參議
知製教趙暉字明
號 濟谷 *海槎日記を殘す。
己亥 生 四十五 豊壤人

副使通訓大夫行弘
文館典翰知製教
兼經筵。侍読官
春秋館。編修官。
李仁培字季修號
吉菴
丙申 生 四十八 金義人

從事官通訓大夫行

p 3 3

弘文館校理知製

教兼經筵侍讀官

春秋館記注官金

相翊字仲佑號弦菴

辛丑生 四十三 光山人

上々官

君聲崔知事

聖任李同知

仲拳玄同知

上判事

來儀崔判官

景通崔僉正

大年吳僉正

次上判事

大來崔僉正

聖欽李僉正

押物判事

子定玄僉正

晦伯玄僉正

士行劉僉正

虞裳李主簿

良醫

李佐國字聖甫号暮菴

醫員

南斗旻字天章号丹崔

成灝字大深号尚菴

製述官

南玉字時韞号秋月

p 3 5

写字官

洪聖源字景魯号景齋
李彦佑字公弼号梅窩

画員

金有声字仲玉

正使子弟軍官

趙瞰字号李梅

金相玉柳■源。李海文

曹信 徐有大

副使子弟軍官

李德履。柳鎮恒

閔惠珠。曹学臣

梁谷 林春興

從事子弟同

李徵輔。任屹

p 3 6

吳載熙

書記

成大中官士執号龍淵

元仲拳字子方号玄川

金仁謙字安号退石

別破陣 鉄砲懸

許圭 劉斗億

馬上才 曲馬乘

朴聖迪 鄭道行

曲樂 樂人

金泰成 鄭德龜

理馬

張世文

伴人 側遣

李民寿 洪善輔

金心錫

騎船將 船奉行

参人

右上官次官都五十二員

遣物懸り

- 禮単直 一員 為中賄
- 盤纏直 三員 座敷番
- 廳直 三員 荷船奉行
- ト船將 三員 三使家来
- 使好子 六員 同断
- 一行好子 四十六員 同断
- 都訓導 (とくんとう) 三員 行列奉行
- 郷書記 三員 書役
- 通引 十六員 小童
- 吹手 十八人 シュライ吹
- 羅將 十六員 叩キ役
- 砲手 六員 鉄砲打
- 節手 (セツシュ) 二員
- 鉞 (エツ) 手 二員 斧持

p 38

- 形名旗手 二員 大旗持
- トウ手 二員
- 刀尺 六員 料理人
- 小通詞 七人
- 騎船沙工 三員 本船添
- 繚手 六員 船頭
- 舞上 六員 同
- 碇手 六員 同
- ト船沙工 三員 ト船船添
- 右中官都百七十一人

騎船格軍

ト船格軍

右下官都二百五十四人

総人数四百八十人

内 百十五員

大阪船場残ル

大々三百六十五人

江戸参向

朝鮮之信使昨七日御
暇被 仰出来ル十一日
発出之事ニ候間於
其宿々御賄差支
無之様可被取計候 以上

三月八日 古坂与七郎 印
一色安芸守 印

品川宿方
兵庫迄
御賄所宛

(了)

*割石洋策翻刻ス(29 DEC 2017)